

令和元年度インターンシップ実習生受入テーマ【課題⑦】「岩石摩擦実験の実習」

実習内容

地震現象の本質は断層の摩擦すべりである。しかし自然の断層の大部分は地下にあり直接的に観察することは非常に困難である。そのため防災科学技術研究所は断層運動を模擬する岩石摩擦試験機を用いて地震発生機構の調査研究をおこなっている。本実習では、実際にこの岩石摩擦試験機を用いた摩擦実験をおこなって各種センサーによる測定の基礎を学習するとともに、収録したデータに基づき摩擦すべり現象の理解を深めることを目的とする。

受入条件

大学および大学院に在籍する学生（大学3年以上）

地球科学、とくに、地質学や地震学に関心があることが望ましい

実験データを整理、表示するための基本的なパソコン操作ができることが望ましい

受入人数

1～2人

実習期間およびスケジュール

令和元年7月22日（月）～9月13日（金）中の5日間

1日目 オリエンテーション

2-3日目 摩擦試験機を使った実験

4日目 収録データ整理、表示

5日目 成果発表

（スケジュールは実習の進捗によって変更する可能性があります）